【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
岩手県厚生連	行政				8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する						
	企業										
	ＪＡグループ	・ポスター配布。組合員には受診者数３枠増、新規ＯＰ２つ増（項目・腹部エコー）など希望に応じて対応している。受診時に翌年の仮予約ができるようにした。 ・組合員サービス向上、ＪＡを知ってもらう。組合員への受診予約優遇など受診環境を整えている。 ・ＪＡ組合員へチラシ配布と関連企業への推進。 ・各ＪＡ・連合会へ早期とりまとめと早期予約。組合員へのお得情報の提供（キャンペーン）で一定成果があった。 ・女性部や青年部に対する推進、各ＪＡへチラシを配布。	・評価と改善、取組事項を数値化する。選択と集中。	・ＪＡグループ企業への受診勧奨。 ・役職連加入団体への受診勧奨。		・JA全農エネルギーへ県北および県央地域で営業しているSSにポスター掲示を要請した。給油機付近の柱への掲示を了承してもらったが、掲示場所へ設置する掲示ボードと本会作成ポスターのサイズが合わず断念した。 ・ＪＡグループ企業や役職連団体への受診勧奨について、今年度は役職連が加入団体職員への受診料の給付を3年に1度から2年に1度へ変更したことから受診者増に繋がり、受診料の給付対象人数枠を超過したことと今後も同様の傾向で推移することが見込まれるため実施しなかった。 ・農業法人等への受診勧奨についてはこれからスタートするが、法人への訪問活動の要請は今後もＪＡに働きかけていく。 また、ＪＡに関連する団体（女性部等）へのチラシ配布は実施できた。	・達成度　３０％ 　ＪＡが管理する施設は概ね掲示してもらっており、ＪＡ職員の個人的な繋がりで産直等へ掲示の許可をもらったところもある。 ・達成度　０％ 　受診勧奨について働きかけはできなかったものの、役職連の給付制度が変わった影響による。 ・達成度　５０％ 　昨年度の冬季から取組始め、今年度も取組をスタートさせたばかり。昨年以上の受診数を目指す。	・SS利用者の多くは待ち時間にスマホを見て時間を潰す傾向が強いため、SS内の休憩室および外壁への掲示では目に入らないことから掲示ボードへの掲示を考えたが、ポスターより掲示ボードのサイズが小さい点まで考慮していなかった。 JA全農エネルギーと次年度もポスター掲示が可能かどうかならびにポスターに代わるPR方法や、掲示の方法についても協議する。	・JASSについては特段なし。 ・農業法人キャンペーンはトップダウンで実施できた（島根県）	・JASSへのポスター掲示だけでは効果が上がらなかったため、クーポン券と粗品を配布。クーポン券の裏へ車の運転する際に生じる目や足の疲労への対処の仕方、および健康を応援していることへのPRを行った。 （クーポン券関しては景品表示法に抵触しないように） ・特になし	・全農エネルギーと粗品配布等、ポスター掲示以外のPR方法を協議・検討したい。 ・令和３年度より取り組んでいることから、今後も２JAとの関係を強化していく。 ※県内７ＪＡの動向 ①新いわて ⇒県土の半分を有する大規模ＪＡ。組織機構上、ＪＡ本所一括管理とせず、６エリア毎独立で事業運営を展開。ＴＡＣとの連携は次年度以降の課題として考えている。 ②いわて中央 ⇒県庁所在地を含む県央部のＪＡ。ＴＡＣと情報交換はできても法人への同行までには至らず。 ③いわて花巻 ⇒ＪＡ本所および３エリアのＴＡＣとも農業法人への推進について理解もあり話合はできている。今後も関係強化を図る。 ④岩手ふるさと　⑤江刺 ⇒ＪＡ本所が人間ドック全般を担当。自主的に取り組んでいるためTACとの連携は行っていない。 ⑥おおふなと ⇒県南沿岸部に位置するJA。農業法人はごく少数であり、ＪＡの人間ドック担当者が１名しかいないことから負担軽減のためＴＡＣとの連携は行っていない。 ⑦いわて平泉 ⇒県南部に位置するＪＡ。管轄の１市１町のうち、１市において行政が人間ドックの募集を行っており、年間実績の３分の１を占めている。ＪＡ担当者の負担軽減のためＴＡＣとの連携は行っていない。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
東京都厚生連	行政				8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する						
	企業										
	ＪＡグループ	〈健診をキャンセルされた方の対応について〉 ・岩手：日程変更実施。キャンセルは少ない。 ・山梨：当日日程変更可能。コロナ理由でキャンセルされた方専用枠を２枠設けている。 ・兵庫県：市町によって当日日程変更実施。	〈健診をキャンセルされた方の対応について〉 ・キャンセルの理由を把握する。 ・２回以上予約を変更された方については、属性メモに残し、次年度健診受診日の1週間前に健診を促す連絡をしている。	〈健診をキャンセルされた方の対応について〉 ・キャンセルの方には、日程変更対応しているが、体調不良や、コロナ感染等でキャンセルされる方が増えてきている。 ・キャンセルされた理由を把握し、令和３年に引き続き、キャンセルされた方をフォローし、受診率アップに繋げたい。		〈健診をキャンセルされた方への対応について〉 ①希望日に日程変更できるよう、予約枠を2名分増加して対応。 ②受診を検討して保留されている方について、上記対応を行った結果、保留された方が昨年度より減少した。今後未だ保留とされている方への推進が課題。	〈健診をキャンセルされた方への対応について〉 ①80％ ②12月中に各JA経由で、受診を保留とされた方へ、再度声掛けを依頼予定。	〈健診をキャンセルされた方への対応について〉 ①ご夫妻で日程変更希望された日の空きが、予約枠２名分のうち残１名分しかない場合は、１名枠増やしての対応とした。容易に変更可能となり、受診者から好評を得る。		・キャンセル理由の明確化。 ・予約枠2名分増に対しての成果を見える化し、スタッフのモチベーションアップに繋げる。	〈受診者へ直接的アプローチ〉 ・12月中にJA経由で、受診保留とされた方へ、再度声掛けを依頼予定。 〈受診者へ間接的アプローチ〉 ・健康講演会において、健診の必要性を再認識してもらう場として、また、受講者の家族・知人等を含めた健康教育活動の場として活用し、受診率アップに繋げたい。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
山梨県厚生連	行政	胃部X線の受診者数についてはどの厚生連でも大幅に減少しており、検診車の整理を検討しているところもある。高齢化の影響が大きいため、これに関してはやむを得ないと考えている。 国の指針に合わせたがん検診実施の要請などは、今のところない。	特になし	高齢者に特化した健診メニューの提案を具体的に進め、介護事業ともタイアップして行政の課題解決に繋げる。 また、インボイス制度への対応が早急に必要になるため、8月を目途に行政への次年度料金の提示を行なう予定である。全厚連側で各厚生連の対応について足並みを揃える予定などあれば早急に教えてもらいたい。	8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	高齢者に特化した人間ドックの事業提案を自治体に行なった結果、次年度より採用いただける見込みとなった。詳細な検査項目について現在調整を進めている。 インボイス制度への対応について、現時点で協会けんぽへの対応方法が決まっていない状況である。全国的にも同様の状況であると推測されるため、早めに方針を確定したい。	50% 10%	住民から、後期高齢者に対する人間ドックの助成要望が自治体に寄せられており、本会の提案がうまくニーズにマッチしたことが成功要因と考えている。 インボイス制度への対応が遅れている理由については、情報不足があげられる。全国の厚生連で足並みを揃えて対応することが理想と考えているため、全厚連のリードを希望する。	まだ具体的なことは決定していない。	端数の処理方法について、まだ具体的なことは決定していない。	引き続き情報提供を希望する。
	企業	休日のドックを検討しているところもある。推進方法については、直接訪問する形や、知り合いを紹介してもらうなどの方法が多い。	健康経営という考え方のもと、経営者に対して直接、提案や働きかけをする方法もある。企業でもプレゼンティーズムの改善などが課題になっているため、健康経営への取り組み強化は有効である。	引き続き健康経営をテーマに据え、健診とアフターフォロー（健康教室やデータ分析など）を通じた企業との関係構築を進めることで、市町村依存の事業体制の見直しに繋げる。		健診や結果報告だけではなく、事業所単位で結果を分析して県内の状況と比較し、結果に応じたアドバイスの提供や健康教室の推進によって企業との関係を強化する試みを検討している。	30%	県内企業も健康経営については前向きであり、関係を強化していく上で有用な取り組みになると考えている。分析結果を帳票やデータで返却したいと考えているが、その内容について充分な検討が必要であると考えている。			引き続き具体的な実施内容を検討する。
	ＪＡグループ	JA職員の家族に対する優遇を行なっているところもある。	特になし	新型コロナワクチンのJA巡回接種などを通じて、改めてJAの存在意義や連携方法など、原点に立ち戻った事業の重要性を感じている。今後は引き続き、JA共済とタイアップした人間ドックの検討や、遠隔健康相談の検討を進める。		新型コロナワクチンのJA巡回接種は12月で５回目を迎えるが、県ならびにJAから大変好評である。 遠隔健康相談については試験的に１JAでテスト運用を考えており、提案まで終了している。こちらも組合員メリット向上に寄与するとして大変歓迎されている。	30%	遠隔健康相談については、テスト運用によって課題を洗い出したうえで他JAに横展開していく方針に変更したため、当初の予定よりも時間をかけて進めていくこととなった。			地域貢献事業として、ワクチン接種やがん教育などの展開を続けていく。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
兵庫県厚生連	行政	・ナッジ理論に基づいた受診勧奨の実施	・各行政が抱える課題・要望を積極的に拾い上げる ・健診に付加価値を付ける（ホテルの割引券の配布等）	・健診をキャンセルした方への再勧奨を積極的に行う（他県の取り組みを参考にさせていただき、行政に働きかける） ・市町の特性に合わせたオプション検査・会場・日程等の提案 ・メッセージ性の高い受診勧奨チラシ・リーフレット等の配布依頼	8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	①一部市町において、健診をキャンセルした方に対して後日設定されている漏れ者健診への受診案内をしていただいた結果、想定よりも多くの方に受診していただけた。また、他の市町では国保の健康保険証更新の案内封書に漏れ者健診の案内文書を同封する等、多くの方に目にしていただく工夫をしている。 ②若年層の受診率が低い市町において、20～39歳の方をターゲットにした健診を１月に２日間追加した。 ③協会けんぽから被扶養者の健診未受診者リストを提供いただき、本会から未受診者に対して「特定基本健診を無料で受診できる」ことをアピールした案内文書を17,703人に発送し、983人の方が受診された（11月15日時点）	80%	①市町と本会が共同作成した健診案内ハガキを送付したことで、想定を上回る多くの方々に受診していただいた。だがその影響により健診会場が一時混雑した為、今後は事前に受診見込み人数を具体的に把握し、スタッフを配置する必要がある。 ②健診日程を追加したことで本来の対象である若年層のみでなく、40歳以上で健診を受け漏れたからの申込もあり、漏れ者健診としての役割も担っている。 ③例年受診勧奨する対象は国保・後期の方が主だが、社保の方にも幅広く受診勧奨できた事で、新規受診者の獲得に繋がった。		・封書よりもハガキを使った案内の方が効果が高い。 ・協会けんぽの未受診者勧奨で新規受診者を獲得できたが、次年度以降も継続して受診ただけるような対策が必要。	・今年度未受診者勧奨ができなかった市町においては次年度はハガキを使った受診勧奨を推進する。 ・今年度新規で受診してただいた方に継続して受診していただく為に、個別に文書や受診票を送付する等の対応を検討する。
	企業			引き続き地元JAおよび連合会の協力のもと、新規企業の開拓を行う		①ＪＡから紹介いただいた事業所(約1,500人)の新規受託が決定した。（令和５年度から）	90%	①日頃から各地区のＪＡと親密な関係性を築き、協力体制が取れていた事で新規受託に繋がった。			引き続き地元JAおよび連合会の協力のもと、新規企業の開拓を行う
	ＪＡグループ	・JA職員健診にて職員の家族の予約も行う		引き続きJA役職員の家族を対象とした受診勧奨を積極的に行う		①１１月から開始したＪＡ役職員健診において、ご家族の健診を受け入れした結果、複数のＪＡで受診の申込希望があった。	70%	①すでに集団健診が終了した市町にお住いの方に受診機会を設ける事ができた事や、健診申込等の手続きは各ＪＡと厚生連が行うので、受診者にとって面倒な手続きの簡略化ができた事が受診に繋がった。			引き続きJA役職員の家族を対象とした受診勧奨を積極的に行う

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
島根県厚生連	行政	新たなオプション検査の提案	会場を変えるとこれまで受診しなかった方の受診につながることがある（ホテル、ショッピングセンター）。ホテルはコロナ禍でこれまでより敷居が低くなっている。	受診者の減少が続く市町について、次年度の健診会場選定で温泉施設やホテルの使用を提案する	8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	・市町村との連絡会で提案 ・5年度の健診日程に反映してもらうよう依頼（日程策定中）	0%（5年度に向けて実施段階）		協会けんぽ被扶養者　未受診者への受診案内が効果がある（協会からリスト提供）		エリアを絞り試行実施を協会に働きかける（効果があれば全域で実施）
	企業	・厚生連の取引業者への推進 ・有機溶剤健診、特殊健診へ対応した健診内容の提案、専門性を高めた事業推進	・企業要覧から事業者を選定してDM送付。リーフレットを複数作成してリターン率が高いものを継続使用する（AB分析）。 ・健康経営に関心のある経営者へのアプローチ	・取引業者への推進 ・推進資料、パンフレットの見直し、効果的な資料作成につなげる		・協会けんぽ生活習慣病健診（フォロー健診）の企画競争に提案書を提出（無料検査等） ・新設した胃カメラ検査を活用した新規事業者の獲得（15人） ・インフルエンザワクチン予防接種を取引業者に新たに受診してもった	30%	インフル等、小さい案件からつながりをつくり、健診の受託につなげていきたい。		データ分析、保健師のアフターフォローなど付加価値をつけたサービスを提案	健診データの活用・資料化を進める（他県厚生連の参考資料等があると良い） 企業への推進資料に加えることで健康経営に注力する企業の健診獲得へつなげる
	JAグループ		・リピーターを大切にする取り組み（ゴールド会員、シルバー会員） ・担い手ドックは社会貢献度高い活動。見せ方次第で事業拡大につながる可能性あり（新聞等）	・リピーターへの特典、新規受診者紹介特典をJAへ提案を検討する ・担い手ドックの実施後のPRについて検討する		・JAの広報誌、TAC通信、農業新聞への掲載を推進している ・厚生連HPにドック実施状況をアップすることを検討中	40%	厚生連HPへのタイムリーな記事掲載が必要（取材などの方法検討）	ホームページ充実、広報上手（山梨県）、Instagram開始（愛媛県）	担い手ドックの取り組みをPRすることは職員のモチベーションになる	他県厚生連のHP、SNS等を勉強し当県に取り入れる 閲覧者の多いJAしまねのSNS等に厚生連活動を入れてもらえるよう働きかける

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
愛媛県厚生連	行政		健診会場をホテル等コロナで打撃を受けた業種かつ、健診会場として十分な広さがあり、人が集まりやすい場所に変更・追加し、受診者確保・健診会場の企業もサービス券を受診者へ配布し、利用促進を図っている。	①健診会場・日程の効率化を検討。	8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	検討プロジェクトを立ち上げ、会場変更や集約などの計画策定を行うこととした。	50%	市町との協議等もあるため、当会の思惑通りに進まないことも多々あり。			巡回健診における、健診会場・日程の効率化を市町との協議により進める。
	企業	健診にプラスして、健康経営についてもフォローすることで付加価値を追加している。	社会人クラブや。学生とのコラボや推進を通して、OB・OGとのつながりを作り、企業に対して推進している。	①健康経営についてもフォローできる推進体制の検討。 ②社会人クラブや学生へのコラボ、アプローチを検討。		人間ドック棟の昼食時に専門学校等のデザートを提供するなど検討。 また新たにInstagramを開設しコラボを検討中。	30%	関連機関と協議中。		人間ドック昼食の学生とのコラボについては、Instagramだけでなく新聞・テレビ等のマスメディアも活用することでより一層知ってもらう機会になる。また、その記事を見て受診するもいると思う。 社会人バレー等とのコラボ（食事や生活環境について）を企画するのも良いと思う。	学生または社会人クラブとのコラボについては、令和5年度中の実現に向け関係各所にアプローチする。
	ＪＡグループ	共済連をはじめ、JA・連合会とのコラボを検討している。		①JA・連合会とのコラボを検討。		上記同様、Instagramを開設し各JAの産直市等とコラボ企画を設定	30%	実施に向けた具体的な内容を協議中であり、次年度実施予定。			Instagramを利用した各JA・産直市とのコラボ向け、関係各所にアプローチする。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
熊本県厚生連	行政	・キャンセル対策の実施 ・新規オプション検査の実施	・市町村の課題を把握し、課題に対して一緒に対策を行う。 ・広報活動に注力する。 ・がん検診を受けない方には、丁寧に必要性を説明することで、次年度の受診つながることもある。	・新聞折込チラシを引き続き行う。 ・ラジオのJA枠を活用し広報を行う。 ・施設健診キャンセル者への再通知等を検討する。	8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	①巡回健診では、予備健診を設定しており、予備健診への受診勧奨対策で協議を行い、健診申込者で未受診者のうち、国保加入者は市町村が、その他は本会が個別勧奨（ハガキ）を行った。 結果、対象地区全体の受診数増加にはならなかったが、予備健診の前年度比は105％となった。 ②農業フェアでの無料検査（骨粗検査）を実施した。結果、2日間で350名の無料検査の利用があった。 ③新聞折込チラシの裏面にがん検診情報を掲載した。	①60％ ②100％ ③60％	①本会が行う個別勧奨の費用は市町村では出してもらえない。 継続していくには、費用面の協議が必要である。 ②次年度は、JAのイベントに参加し周知活動を行う。 ③実際、がん検診受診に繋がったかは不明である。	・未受診者へのTEL入れ。 ・健康経営	・「なぜ」の部分を理解してもらう。	・未受診者への対応 ・施設受診の強化
	企業	・農業法人への推進 ・取引業者への推進 ・市町村依存型のリスク分散し、企業健診への推進強化		・本会の取引業者に対し、健診樹脂の依頼を行っていく。 ・新規事業所獲得のため、次年度健診日程を見直す。		①農業法人1ヶ所と協議を行った。結果、近隣のJA職員健診時に同時受診することとなった。 ②本会取引業者（1事業所）への推進を行ったが、料金面で受託は難し状況であった。 ③施設内の事業所健診利用業者に対し、健保補助を利用した人間ドックの推進を行った。結果、7名の人間ドック受診に繋がった。	①50％ ②50％ ③80％	①JAの協力を得ながら、受診勧奨に取り組む必要がある。 ②健診の推進はできなかったが、インフルエンザワクチン接種の利用は増えた。 ③健保補助を人間ドックでも利用出来る事を知らない方が多くいたため、今後も推進を強化していく。	・JAを通じて新規事業所の獲得。 ・	・シニアドック(認知症) ・10年以上の受診者に花束 ・食事・クーポン ・障碍者施設と連携し粗品の提供。	・粗品については要検討。 ・取引業者への受診勧奨。
	JAグループ	・JA広報誌への情報掲載 ・JA役職員の家族への受診勧奨		・引き続き、JAを通じチラシの配布を行っていく。 ・JA広報誌への情報掲載をお願いしていく。		①JA広報誌に人間ドック情報を掲載した。近隣の3JAで掲載しているが、効果分析ができていない。 ②県青協員会の健診利用向上の為、委員会での健康講話を行う。	①60％ ②50％	①現在は、3JAのみとなっているため、今後掲載JAを増やしていく必要がある。 ②健康講話・健康学習会を定着化させる必要がある。	・JAとの連携強化。 ※TACを通じての受診勧奨 ・組合員割引 ・	・ONLINEによる受診勧奨 ・	・引き続き女性部・青壮年部への積極的会議の参加 ・JAとの連携強化。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
千葉県厚生連	行政				8～12月まで各厚生連にて新たな方策を実践する						
	企業	・群馬県厚生連：取引業者（ユニフォーム、アクリル板等を取引している）へ声掛けを行う。 ・福井県厚生連：企業担当者がいて、その方が推進をしている（前職健診の営業） ・滋賀県厚生連：特にしていないがHP等をみた方が連絡があり ・島根県厚生連：協会健保からデータをいただき営業をかける。 ・岡山県厚生連：JAグループ等のコネクションを使い推進する。	・企業名簿を活用し、DMを発送する。（2パターン用意し、反応があった方を次に採用し、新たなパターンと併せて常に反応をみる） ・経営者へPRを行う（健康関連） ・大きな企業の一部の方が健診を利用した場合であっても、丁寧な対応（健診結果等を持っていく）し、今後に発展出来るように務める。 取引のある業者へのプレッシャー（厚生連を利用している業者を優先させる等） ホームページをもう少し目に留まるようにする。	JAグループ、取引業者等へアプローチを行う。 現在、企業健診として本会を利用している企業へ声掛けを行う。		JAグループ、取引業者へのアプローチを行ったが、思っていた回答は得られなかった。	20%	インフルエンザ接種については、増加したが、健診については現状困難な状況と思われる。今後も引続き情報収集及び、声掛けを行っていく。	実施したことを、実績として残しておく。	失敗してわかってくる部分を今後に生かす。 HPに問い合わせ先を記載する	引き続き、JAグループ、取引業者へアプローチをしていく。また、現在健診等を委託を受けている会社から近隣の会社を紹介していただけないか確認をする。 千葉市職域連携推進協議会にて市内へのPRを行う。
	JAグループ										

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
福井県厚生連	行政		健康診断を受けることは非日常な出来事、会場をショッピングセンターやホテルなどでの実施で効果があった。	福井県は１７市町のうち１３市町より受託しており、大半の市町を受託していることから、県に対しても受診数向上や横断的な健診の実施についてバックアップを依頼していきたい。 市町へは、健診会場の設定をショッピングセンターやホテルなどを提案していく。	８～１２月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	横断的な健診については、他健診機関が受託しているがん検診（胃がん、肺がん、婦人科等）においても、市町の垣根を越えた横断的な健診実施について検討している情報を得た。	県からのバックアップについては、現時点では、難しい状況。 受診率向上のため、1市より、未受診者を対象に電話による受診勧奨の依頼を受け実施した。 協会けんぽ被扶養者を対象としたプレミアム健診を令和5年3月に実施することとした。	あらゆる方向から受診者拡大の検討しているが、受診数の少ない会場があるため、効率的な健診実施の方向からも検討する必要がある。		協会けんぽなどの健保組合等は、受診者の声を聞きたいと考えているため、プレミアム健診時にアンケートを実施し、協会けんぽに報告することで、協会けんぽとの関係を向上させることができる。	他健診機関や関係機関との連携を強くし、特定健診やがん健診の受診数増および、魅力ある健診を行う。また、集約化などを行い効率の良い健診を実現させる。
	企業	JAとの取引業者などへの推進。 バリウム検査の受診率向上。	健診の案内等に「バリウム検査を受診しない場合は、理由をお聞きすることがあります」などを記載しておくと受診数が増える。	バリウム検査の受診率向上に努めていく。		健診の案内等に「バリウム検査を受診しない場合は、理由をお聞きすることがあります」などの記載はできていない状況であるが、未受診者を対象とした健診にも、ﾊﾞﾘｳﾑ検査ができるよう、可能な日程を増加した。	昨年同時期の胃カメラ＋ﾊﾞﾘｳﾑの受診率は41.5％ 今年度は43.2％とやや増加している。	バリウム検査を希望する人もいるため、取りこぼさないことも検討したこと。	他でも行政の健診を集約し、新規の事業所健診を増やし、受診数拡大に努めているところもある。	コロナが終わって、情勢が変化していく中、どうやって受診数を増やしていくか情勢を踏まえながら考えていく必要がある。	ﾊﾞﾘｳﾑ検査の受診率を上げる努力は続けていく。 行政の特定健診を集約し、新規事業所健診を獲得していく。
	ＪＡグループ	婦人科健診や対応できない検査等は他の医療機関等と連携した健診を実施している。		福井県はJAの合併によりJA福井県とJA越前たけふの２JAのみとなったが、JA福井県は旧JA単位で職員健診を実施している。令和５年度に向け健診内容の統一など職員健診を一元管理する方向となっていることから、婦人科健診など厚生連でできない検査について他の健診機関と連携し婦人科健診を受け入れられる体制を整え、JA職員健診数の増加に努める。		現時点で、次年度の職員健診に向け打合せ等を実施しおり、JA福井県側からも婦人科健診の実施要望があった、他健診機関との連携に向けて調整を予定しているが、繁忙期は他健診機関の協力を得るのが難しい状況であり、交渉予定。	令和5年度の健診より検討しているため、現時点では、まだ決まっていない状況。	JAの担当者と協議する機会を設けることがなかなかできなかった。			合併したJA福井県の役職員健診について、統一化など健診内容、実施時期などを確立させていく。その中で、受診数を増やす内容を検討する。

【別添２】

健康管理厚生連活動推進検討会「受診者拡大に向けた取組み」（事業推進先別取組み）【検討会前後に提出】

厚生連名	事業推進別	第１回検討会での協議（第１回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）				第２回検討会で協議（12月８日（木）までに記入・報告をお願いいたします）			第２回検討会での協議（第２回検討会終了後、５日以内に提出をお願いいたします）		
		他厚生連からのアドバイス（第１回検討会で記入します）	池田アドバイザーからのアドバイス（第１回検討会で記入します）	アドバイスをふまえた新たな方策（第１回検討会で記入します）		第１回検討会で策定した方策の取組み結果	達成度（策定した方策の達成度を％入力）	成功要因・失敗要因	他厚生連からのアドバイス	池田アドバイザーからのアドバイス	アドバイスをふまえた改善策
岡山県厚生連	行政	特になし	特になし	特になし	８～１２月まで各厚生連にて新たな方策を実践する	特になし ・助成金制度未実施の行政に対し、引き続き協力の要請を行う。	達成度　　0% 推進は比較的閑散期である1～3月で予定しております。	マンパワー不足のため短期間での実施は不可能（事業計画の策定と並行し、新年度に向けて実施致します）			
	企業	出入り業者への声掛け。	・企業年鑑を参考にDMの送付 ・事業所社長様向け健診について講義の開催	・厚生連HPの更新　　・JARIC(JA共済自動車指定工場協力会)への推進。		・厚生連HPの更新（次年度に向け業者とWeb予約システムも含め協議中）	達成度　　0% 現在協議中のため	マンパワー不足のため短期間での実施は不可能（事業計画の策定と並行し、新年度に向けて実施致します）	HPの内容について (岩手)JUNONモデルの健診体験を掲載	HPの内容について ・食事や健康について充実させる ・他県厚生連のHPも参考にする ・第三者に内容の評価をしてもらう	HPの更新については現在業者との協議の中で検討します。 健診を実施している事業所のさらに関連企業への推進強化。 保健師同伴で代表者への働きかけ。
	ＪＡグループ	特になし	・JA広報誌に体験談を掲載する 実際に健診を受けていただいている女性部の支部長に厚生連 組合員健診について体験談を広報誌に載せる。	・女性部支部長へ健診の推進と広報誌への体験談掲載交渉。 ・直売所へのアピール(ポスター等)		・各ブロック別に支部長、及びJAの女性部担当事務局 担当者のリストアップ（次年度に向け推進準備中）	達成度　　0% 新年度が始まるまでに各支部長、事務局とのコンタクトを取り交渉を進めていく予定です。	マンパワー不足のため短期間での実施は不可能（事業計画の策定と並行し、新年度に向けて実施致します）	女性部担当者のみを対象とした健診の実施。		女性部担当者27名を対象とした健診の働きかけ。 さらにHPもしくは広報誌へ体験談の掲載をお願いする。